



No.26
2019・4

高齢社会をよくする下関女性の会
(ホーモイ)

代表 田 中 隆 子

TEL/FAX 083-253-4892

URL: <http://www.yg-life.net/homoj/>

2018 年度 市民福祉講座

「私たちが知りたい施設サービス」

講師：松 谷 法 史 特別養護老人ホーム はまゆう苑課長

■自宅で介護を受ける

高齢者の7割から8割の人は、家族の介護や近隣の支援（見守りや声かけ）と、介護サービス（民間ホームヘルパー・シルバー人材センター・配食サービスなど）や介護保険サービス（デイサービス・ホームヘルパー・短期入所・訪問介護・訪問入浴・住宅改修・福祉用具など）を受けながら、ピンピンコロリで終わることを望んでいます。近くの地域包括支援センターや社会福祉協議会などに、これらの介護関連サービスについての情報があります。

■自宅以外で介護を受ける（病院、施設）

(1) 介護保険を利用して入る施設（介護保険施設）

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

〈対象者〉＊常時介護が必要（原則、要介護3以上の人）で、自宅では介護が困難な人を日常生活全般的に介護します。生活状況だけでなく介護度など、入所の必要性の高い人から順番に入所するシステムになっています。世帯や経済状況によって、食費・居住費に減免があります。（地域密着型介護老人福祉施設… 29 人以下の小規模で、入居は下関市民に限る）

②介護老人保健施設（老人保健施設）

〈対象者〉・・・病状が安定し、リハビリ、介護・看護に重点を置いたケアが必要な人（要介護1以上）で、医療上のケアやリハビリ、日常的介護を一体的に提供し、家庭への復帰を支援します。（中間施設としての機能）

③介護療養型医療施設（2017 年度で廃止、2024 年度までは移行期間）

④介護医療院（（今年度創設）

〈対象者〉・・・長期療養のため、医療と日常生活上の介護が必要な人（要介護1以上）

同じ種類の施設でも、個室（ユニット型）か多床室（2人部屋、4人部屋）か、看護師や介護福祉士の数、夜勤の職員数、機能訓練などの有無などによって料金が違います。但し、利用者負担は1割、2割または3割です。

(2) 介護保険を利用せずに入る施設

○有料老人ホーム ○サービス付き高齢者向け住宅 など

（ヘルパーや訪問介護など外部のサービスを使い、入所してから在宅サービスの介護保険を使う場合が多い。）

■居宅サービス

(1) 特定施設入居者生活介護

〈対象者〉・・・県から指定を受けた有料老人ホームや、介護対応型軽費老人ホームなどに入所している人（要支援1～要介護5）・食事、入浴、排泄の介助、・日常生活の世話、・機能訓練など

(2) 短期入所生活介護（ショートステイ）

〈対象者〉・・・要支援1～要介護5の認定を受けている人。短期間（基本は 30 日以内）入所して、食事、入浴、排泄の介助、健康チェックなどを受けます。

■地域密着型サービス（下関市民限定のサービス）

・特別養護老人ホーム（29人以下） ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム） ・小規模多機能型居宅介護（通いを中心に、随時多機能なサービスが受けられる） ・特定施設入居者生活介護（29人以下）

■介護保険施設外

・養護老人ホーム ・生活支援ハウス ・軽費老人ホーム（A・B型） ・ケアハウス（軽費老人ホームC型）・有料老人ホーム（介護付き・住宅型・健康型） ・サービス付き高齢者向け住宅

■介護保険サービスを受けるには

要介護認定、要支援認定を受けるために介護申請を行います。市役所だけでなく、在宅の人は居宅介護支援事業所、また、地域包括支援センターや介護保険施設でも申請代行を行っています。

（大吞 芳子）

見学の前に「自分たちが入りたい施設」と題してワークショップを開き、見る視点を「設備・環境」「職員・運営」「プライバシー保護」「経費」などとし、各施設におじゃましました。

見学者アンケートから

- ・個室はトイレ、洗面所が付いていて使いやすいように工夫されていた。(車いすでもOK)
- ・最新式の風呂の設置は利用者、介護者共に負担が少なくなっていた。お風呂など家庭的で安心。
- ・多床棟はカーテンではなくて個室のように木製の戸の間仕切りでした。優しさ、プライバシー保持に努められているのを感じました。
- ・4人部屋の仕切りがカーテンで、開けておけば開放感がある。
- ・施設までの道のりが大変そうです。
- ・安心できる環境にあり、将来親についても考えるきっかけになりました。
- ・ケアハウスの個人の居室の広さに驚きました。各部屋の床暖は良いと思います。
- ・利用者の視点で使いやすくされている。

- 住宅型有料老人ホーム パレット住吉
- 特別養護老人ホーム アイユウの苑
- 特別養護老人ホーム みどり園
- 軽費老人ホーム ケアハウス若葉
- 特別養護老人ホーム はまゆう苑
- 生活支援ハウス ねぎぼうず

- ・「絵」や手作り作品、季節の花などがあり、暖かい雰囲気が感じられた。
- ・ビルのような殺風景な印象で季節を感じるような飾りが無く寂しい感じがした。
- ・介護度の高い方が多いのに暗い雰囲気がない。
- ・建物は古い、掃除が行き届いて清潔感がある。
- ・独特の臭いがしたスペースもあった。
- ・料金について説明が詳しくされて良かった。
- ・料金表を提示されたのが良かった。よく分かった。
- ・現実的に経済状態が良くないと入居できないと思った。
- ・収入により生活様式(金額)が変わるのがわかった。
- ・詳しく説明されて良かったが、サービスの内容の把握には至らなかった
- ・地元の方がボランティアとしてオープンに出入りしてアドバイスを受けている。
- ・広報誌も発行されていて施設の努力が伺えた。
- ・季節ごとの行事もなされている。(グラウンドゴルフ大会・体操教室等々)
- ・子供たちにも体験させている。
- ・入所されている人たちと出会ったときに落ち着いた感じが受け取られた。
- ・IS09001 第三者機関の認証を持っているのは評価でき、安心感が有る。

▼側面が上下するお風呂



▼入居さんやスタッフの作品が並ぶ



▼入居さんと歓談



▼多床室の木製仕切り



▲施設内デイサービス



▲カレーライスをいただく



▲ワンちゃんのお出迎え



▲パワーポイントでの説明を聞く

- ・医療ケア3名基準がここでは10名配置されているのが安心要因。介護職員は基準より多い(入所者の1/3)正職員も多い。
- ・職員の離職率が低いのが良い。・職員が働きやすい職場として実感している。
- ・人手も大事ですが、職員がストレスをもって介護するときなど、心にゆとりが有るか無いか重要だと思う。
- ・職員さんの笑顔や心のこもった挨拶が良い。
- ・誰が行っても同じ質のサービスが受けられるということにこだわっているという考えに感銘を受けた。
- ・長年の経験を活かしクレームを聞く方法など幾種類も考えだされていました。

○どの施設も地域との関わりを重視していました。それが、我々見学者を受け入れた姿勢に表れていたと思います。見学者を常に受け入れているということは、第三者から見られても問題のない環境に整備しておくという施設の努力が日常的行われていることや、地域の意見を積極的に受け入れ、よりよい施設にしようとする姿勢でもあると思われるからです。

○どの施設とも長時間の見学時間でしたが、我々見学者に対するおもてなしが良かった。多くの職員の皆さんが我々見学者に対応されたが、皆さん温かかった。

○どの施設も理念の説明をされました。より良い施設にするため、理念に向かって職員が一丸となって進んでいる組織である、と知ることができました。

毎月第1、第3 火曜日 17:30～
「風の家」で開催 予約不要・無料
どなたでもお越しください!!



介護予防のためのサロ



▲脳トレ リズム二拍子



▲コーラス



▲たいこの合奏



▲姫トレ



▲クリスマスリース作り



▲リズム体操



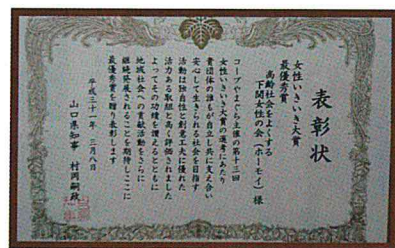
▲健康講話 歯磨き指導



▲みんなで昼食



▼2018 年度 皆勤賞の皆さん



▲知事表敬訪問



▲朝日新聞掲載

最優秀賞 受賞
女性いきいき大賞

～より住みやすい地域社会をめざして～

コープやまぐち主催